



教育目標：ひばりのように生き生きとして明るい子ども
 ○よく学ぶ子 ○思いやる子 ○たくましい子



本校の課題

- 学力面：課題解決に向けて進んで行動する姿勢を育てたい。家庭学習や読書への意欲を更に高めたい。
- 徳育面：互いに認め合う気持ちを更に広げていきたい。可能な中で異学年交流を効果的に実施したい。
- 健康面：体力テスト-筋力・柔軟性・持久力が課題(ABC72%→75%へ)。運動不足・肥満傾向の子が多い。
- 社会とのつながり：震災やコロナ渦の影響で地域とのつながりが薄い。南相馬の良さを実感させたい。

学校経営の基本方針

- 知・徳・体のバランスのとれた教育活動を展開し、将来や社会に役立つ力を育てる。
 - 1 教職員が受容的な態度で児童と関わり、温かい人間関係を基盤とした教育を推進する。
 - 2 児童どうしが互いの個性を認め合い、思いやり、助け合って目標達成に向かっていく学級集団を作る。
 - 3 課題解決的な学習過程や学びの成果を発揮する場を重視し、主体的に学ぼうとする力を育成する。
 - 4 楽しく体を動かす場を設定し、自分の体力・運動能力・健康の向上に努めようとする力を育成する。
 - 5 地域や社会につながる学習を展開し、生き方を考えさせ、将来や社会に役立つ力を育成する。
 - 6 教職員が同じ方向に向かって協働し、組織的に取り組むとともに、高い使命感をもって職務に専念する。

今年度重点目標： チャレンジしよう みとめあおう

【課題解決のための重点実践事項】

よく学ぶ子の育成	思いやる子の育成	たくましい子の育成
①課題解決に進んで取り組む ・主体的に学習に取り組み、多様な考えを交流し、よさを認めあいながら解決していく問題解決的な学習を重ねる。 ②学びの成果を発揮する ・学んだことをリモート集会等で全校に向けて発表する(各学年1回程度)。 ・チャレンジテストを定期的に行い、表彰し意欲を高める。(漢字6月下旬、11月下旬。算数10月、2月。) ③目的をもって家庭学習に取り組む ・チャレンジ週間は学力テストやチャレンジテストと関連を図るなど、目的をもって自主学習に取り組ませる。	④多様な考えに触れ、互いに認めあう ・道徳の授業を中心に様々な教科において、互いの考えを交流する場を設定し、多様な考えに触れ、他者を理解する学習を重ねる。 ⑤協働を通して心を育む ・花いっぱい活動・清掃活動・ふれあい遠足等で協働する場面をもち、協力、思いやり、勤労奉仕、自然愛護、愛校心などの意識を深める。 ⑥至誠(まごころ)学を学ぶ ・「原町二小の至誠学」を活用し、様々な活動を通して至誠学に通じる姿が見られたら賞賛し、価値づける。	⑦目標達成に向けて進んで運動に取り組む ・業間運動でトライタイムを実施し、4～7月ボール投げ、8～11月ランニング、12～3月なわとびに重点的に取り組む。目標を設定し、その達成を目指す。 ⑧外遊びで運動の習慣を身につける ・運動の習慣作りや肥満抑制のため、「外遊びチャレンジ月間」(5～6月頃、9月、2月)を設け、積極的に外遊びに取り組む。外遊びの回数をスタンプラリーカードに記録し、全校集会で表彰して、意欲を持たせる。
将来や社会に役立つ力の育成		
⑨地域を活かした探究活動に取り組み、生き方を考える 総合学習や社会科・生活科等で地域素材(人材、歴史、文化、伝統、自然、産業)を活かした学習を展開し、探究的な活動を通して南相馬のよさに気付くとともに、自分の生き方(キャリア)を前向きに考える機会をもつ。 ⑩情報活用能力・情報モラルを高める 授業や家庭学習にタブレットを活用して情報活用能力の向上に役立てるとともに、ネット・SNS活用上の諸注意を学ぶ情報モラル教育の機会をもつ。 ⑪学校図書館と連携し読書活動を推進する 学校司書の協力を得ながら読書タイムや教科学習における図書利用を推進するとともに、学校図書館の読書イベントに積極的に参加することを通して、児童の読書量を増やし、知識・語彙力・読解力・想像力等を高める。 ⑫子ども達のがんばりを知らせ、ほめて励ます機会を創る 授業参観、学習発表会、運動会、マラソン大会等の公開やHP・各種たよりでの発信により、本校教育への理解を得るとともに、家庭・地域社会が子ども達のがんばりを認め、ほめて励ます機会を創出する。		